

Newsletterは、東京YWCAの事業活動を皆様にお伝えするための広報紙です。毎回特集で取り上げる事業を中心に、東京YWCAの今をお届けします。

特集

活動報告
Report

東京YWCAはキリスト教の基盤に立ち、人権・健康・環境が守られる平和な世界の実現をめざして、事業を行っています。今号は、2025年度の事業の報告号です。ぜひご覧ください。多くの皆様のお支えにより事業が実施できたことに、心より感謝申し上げます。

“2025年度を振り返って”

・ 平和と人権

憲法カフェで学ぼう語ろう

非核・非戦・非暴力の視点から考える

遠い存在に思われがちな憲法を私たちの生活に引き寄せ、身近な視点で考える学習会を開いています。毎回テーマにあわせて講師をお迎えし、これまで憲法9条、憲法改正、国民投票、特定秘密保護法、集団的自衛権、原発の再稼働、脱原発、女性の政治参加、沖縄の基地問題など、多岐にわたるテーマを取り上げてきました。平和な社会、そして誰もが安心して暮らせる社会を目指して、これからも「知ること」から始めていきます。

憲法から考える教育 ～教職と憲法を考える～

教職課程の「憲法」を必修から選択科目にすることを政府が検討しているというニュースを受け、1月31日の憲法カフェでは、斎藤一久教授（憲法学）に講演していただきました。今、学校現場ではいろいろな子どもがいます。いじめがあったり、様々な国籍の子どもがいたりするなかで、指導するのが教員です。個人を尊



2026年憲法カフェの様子

重した“人権”を重視し、多様性を認めること、それが書かれているのが憲法だからこそ、教員になるためには必須であるべきとのお話がありました。当日は見逃し配信を含め155名が参加し、うち約140名が学生でした。質疑応答も活発で、学生からは憲法改正の問題点についても質問がありました。

憲法カフェ これまでの実施一覧

*敬称略、肩書は当時

- 1 沖縄の問題ーとことん話そう、考えよう
古関彰一(獨協大学教授)
2012/10/27 26人参加
- 2 脱原発は電力会社の電気を買わないことから
布施哲也(「反原発自治体議員・市民連盟」共同代表)
2012/11/10 17人参加
- 3 命と平和を脅かす原子力
内藤新吾(日本福音ルーテル総合教会牧師)
2013/2/23 30人参加
- 4 憲法改悪を許さないためにー都知事選を闘ってー
宇都宮健児(弁護士)
2013/4/27 77人参加
- 5 憲法9条を世界の主流に
鈴木裕子(平和を実現するキリスト者ネット事務局代表)
2013/6/22 27人参加
- 6 日本国憲法の三つの顔
小村基本(首都大学東京准教授)
2013/7/6 55人参加
- 7 「天皇を戴く国家」？ 元号、退位、わたしたちの自由
斎藤小百合(恵泉女子大学教授)
2013/7/6 30人参加
- 8 女性の視点から政治と憲法を問う
三浦まり(上智大学教授)
2013/11/9 12人参加
- 9 「憲法改正と国民投票法の問題点」
～憲法96条改正の先に何があるのか？～
清水雅彦(日本体育大学准教授) 2014/1/18 18人参加
- 10 「秘密保護法の本当のねらい」
～秘密保護法廃止に向けたアクション～
清水雅彦(日本体育大学准教授) 2014/3/15 35人参加
- 11 「集団的自衛権の行使」とは「海外で戦争すること」
高田健(許すな！憲法改悪・市民連絡会事務局次長)
2014/5/17 46人参加
- 12 「再稼働阻止のたたかい」
東京電力の電気を使う私たち
山崎久隆(たんぼ舎副代表) 2014/7/19 30人参加
- 13 『上野千鶴子の選憲論』読者の集い
上野千鶴子(社会学者)
2014/9/24 48人参加
- 14 安倍政権はこの国をどこに連れていくのか？
高橋哲哉(東京大学教授)
2014/10/11 71人参加
- 15 沖縄 誰も知らない基地問題
毛利孝雄(沖縄大学地域研究所特別研究員)
2014/11/29 49人参加
- 16 憲法って？ 法律のすごいやつ？
武井由起子(弁護士)
2015/1/30 23人参加
- 17 沖縄の平和運動から学ぶ
古関彰一(獨協大学名誉教授、衆議院議員)
2015/3/18 47人参加
- 18 憲法前文をみんなで読もう！
武井由起子(弁護士)
2016/1/23 23人参加
- 19 誰が主役？ー今の民主主義
中野晃一(上智大学教授)
2015/7/18 38人参加
- 20 戦後70年の今を考え直す
～沖縄の米軍基地問題を通して～
高橋哲哉(東京大学大学院教授) 2015/9/10 73人参加
- 21 選挙に向けて私たちが考えること
中野晃一(上智大学教授)
2016/5/25 35人参加
- 22 安保法案通っちゃったけど
「これから私たちに何ができるの？」
武井由起子(弁護士) 2016/3/1 29人参加
- 23 選挙で変わる私たちの生活
宇都宮健児(弁護士)
2016/9/17 101人参加
- 24 沖縄戦を憶えて
毛利孝雄(沖縄大学地域研究所特別研究員)
2016/6/23 40人参加
- 25 憲法って？ 法律のすごいやつ？
武井由起子(弁護士)
2015/1/30 23人参加
- 26 緊急事態条項は本当に必要？
清水雅彦(日本体育大学教授)
2016/7/5 30人参加
- 27 選挙前にみてほしい上映会「宮古島からのSOS」
とトーク 毛利孝雄(沖縄大学地域研究所特別研究員)
2019/6/20 79人参加
- 28 改憲勢力に対して私たちはどうすればいいの？
島田宏(弁護士)
2016/11/12 25人参加
- 29 施行70年を迎える日本国憲法をもっと知ろう！
古関彰一(和光学園理事長)
2017/4/15 48人参加
- 30 憲法と教育～教員には憲法の知識が必須か？～
斎藤一久(明治大学教授)
2026/1/31 155人参加
- 31 環境と人権
島田宏(弁護士)
2017/11/25 20人参加
- 32 暴力と日本国憲法
金沢野(マイノリティー宣教センター・共同主宰)
2018/4/14 19人参加
- 33 平和をつくりだす勇気
～私たちが主権者として声をあげる～
杉浦ひとみ(弁護士) 2020/2/15 27人参加
- 34 20分で語る ジェンダー・道徳・24条
平良愛香(日本キリスト教団川和教会牧師)
2018/10/27 22人参加
- 35 岸田政権と自民党憲法改正案～知ってる？あなたの生活と憲法のつながり～
高田健(戦争させない！9条壊すな・総がかり行動実行委員会共同代表) 2022/3/12 21人参加
- 36 映画「ベアテの贈りもの」上映会
～女性の権利の獲得とその先の長い列～
2024/9/14 84人参加
- 37 上映会『いのちの岐路に立つ…核を抱きしめたニッポン国』
矢間秀次郎(プロデューサー) 2020/2/15 32人参加
- 38 「女性の政治参加」～ジェンダー平等の実現に向けて
武井多佳子(愛媛県議会議員、松山YWCA会員)
2024/2/10 12人参加

・ 青少年育成

日本語・学習支援 「いちごの部屋」

どんな時間も
次のステップにつながるように



いちごの部屋の学習風景 一人ひとりと一緒に過ごす時間を大切に

いちごの部屋は、2028年度に20年を迎えます。外国ルーツの子どもたちに日本語や勉強をサポートしてほしいという希望は増加傾向にあり、2025年は30人の支援に関わりました。子どもたちの中には、できる自分の姿を見てほ

しい、楽しいことをしたい、という子どもも多く、教科書は見たくない!という日もあります。やりたいこと、頑張りたいことに耳を傾けながら、学習のサポートにつながるよう工夫しています。ボランティアが日本語を話し続けると、時々その言葉を

繰り返してくれることもあります。どんな時間も、子どもにとって日本語の新しい発見や気づきになるように一緒に時間を過ごすことを大切にしています。2026年は卒業生のお話を聞く会も計画しています。

卒業生のメッセージ

2024年8月～2025年7月までいちごの部屋に通った子ども（来日時は小4）が、卒業のときに書いてくれたメッセージです。

〈感想〉

いちごの部屋にとても楽しかったです!

卒業生（当時 小学5年生）

ゲームをするときがいちばんおもしろかったです!



津島の風景と受け継がれてきた伝統文化

・ 平和と人権

原発事故は終わってない 東日本大震災の風化を防ぐプログラム

2011年3月の東日本大震災による福島第一原子力発電所の事故で避難した人びとは、14万人を超えています。ドキュメンタリー映画『津島ー福島は語る・第二章』（土井敏邦監督）は、原発から30キロ圏内で強制避難となった浪江町津島地区の人びとが、どのように思い感じ、何を選択したかを18人から聞き取ったもので、2023年に制作されました。3月28日に上映会を実施し、64人が参加しました。避難当事者や支援者の姿もあり、3時間余りの上映中、席を立つ人はなく、上映後の交流会では32人が感じたことを伝え合いました。「開拓農家として入植し苦労を重ねて美しい田畑をつくり地域の交わりを育んできた方たちが、理不尽に故郷を追われる悲しみをつくづく感じました」、「今もふるさとを想いつつ暮らす人びとのことを思うと胸が痛みます」との感想が寄せられました。

・ 女性の健康

乳がん術後の女性のための水中運動

無理なく楽しみながら
身も心も軽くなって

乳がん術後の女性のためのプログラム「アンコア」は、2005年から延べ参加者454人の心身の回復をサポートし、2024年に終了しました。その実績を活かし、水中運動に特化した8回講習を、2025年7～11月に実施しました。水の抵抗・浮力・水圧を利用したエクササイ

ズは、術後に硬くなりやすい肩回りや腕を動かしやすくし、体幹も無理なく鍛えて体力の回復を図ることを目的としています。参加者9人は、同じ病気を経験した安心感の中で水中エクササイズを楽しみ、アンケートでは、動きやすくなった、気持ちが前向きになったなど心身両面の変化があったと答えています。2026年度は「リボンウォーターエクササイズ」として、5～7月と9～11月に開催します。



術後の運動のはじめの一歩に

・ 青少年育成

子どもたちの憧れ ボランティアリーダー

リーダーになりたい！
リーダーをやって良かった！

YWCAのキャンプでは、大学生や20代社会人のお兄さんやお姉さんが、ボランティアリーダーとして活躍しています。リーダーという一般的なには指導者や統率者をイメージしますが、YWCAのリーダーは子どもたちと一緒にキャンプを楽しみながら、一人ひとりに声をかけ、一人ひとりの気持ちに寄り添い、グループの仲間として受け入れていく、キャンプに欠かせない存在です。子どもたちは、保護者でも教師でもないリーダーが大好きです。「大きくなったらリーダーになりたい」という子どもも多く、実際にリーダーになった子どももいます。普段は学業やアルバイトで忙しい大学生リーダーたちも、研修を受け、ボランティアでキャンプに参加したあと、「この経験は他では得難く、自分自身を成長させた」と語ります。子どももリーダーもともに成長していくキャンプ、それが東京YWCAの青少年育成事業です。



子どもたちに安全で楽しいキャンプを提供するために
リーダーたちは年間を通じてさまざまな研修を受けています

・ 平和と人権

沖縄と私たちをつなぐ

— 沖縄の課題を学び考える

沖縄の社会問題を学びたいという声をきっかけに、武蔵野センターを拠点に、2つの活動を実施しました。1つ目は、2021年から継続している沖縄慰霊の日を覚えるSNSアクションです。この日に読んでもらいたい本の紹介や、「国連女性の地位委員会」で沖縄の基地問題を発信したメンバーによるオンライントークイベントを行いました。イベントには25人が参加をし、国際社会へ沖縄のことを訴える難しさや、課題を共有しました。2つ目は、むさしの市民平和月間で、沖縄出身の崎浜空音さん(都内大学生)による講演会「日米地位協定と私たち～沖縄からの提案～」を実施し、東京で沖縄のことを伝える意義を共有しました。参加者は45人でした。参加者から、これからは「沖縄の問題」としてとらえるのではなく、「自分事」として考えたいとの感想が寄せられました。



崎浜空音さんによる講演会の様子。お話に聞き入りしました

・ 社会福祉

シニアダイアル 相談員募集中

誰かと話したいという
想いに応えるために
真摯に耳を傾ける

シニアダイアルは中高年のための電話相談です。誰かと話したい時や寂しさや悲しさを感じた時などの身近な話し相手として電話を受けています。ボランティア相談員は、カウンセリングの専門家による研修を受けた東京YWCAの会員です。この電話相談では、お名前や素性をこちらから聞くことはありません。家族や知人に話しにくいことも、それならお話しできる、と話す人もいます。2025年度の開室日数は272日、相談件数は1349件でした。電話がつながり「やっとかかった」と話し始める相談者の声からは、直接人と話したいという気持ちが伝わってきます。現在、相談員の仲間を募集中です。まずは年に1度の新相談員研修を受講してください。2026年は9月開講です。

東京YWCA
PEACE
インスタQR



Event 東京YWCAのイベントをご紹介します。皆様ぜひご参加ください。



地域における居場所“すまいるY's板橋”

週1～2回のペースで居場所事業がスタートして1年。誰もが安心して過ごせるフリースペースです。歌う会や聖書等のプログラムも定期的に開いています。少しずつ参加者の輪が広がり、お帰りの皆さんの顔は本当に「にこやか」です。どうぞ板橋センター近くにお越しの際はお立ち寄りください。

Christmas for Peace 2026

東京YWCAは、毎年クリスマスの時期に平和について考えるプログラムを行っています。クリスチャンの人もノンクリスチャンの人も参加できる催しです。クリスマスメッセージを聞き、参加者同士で思いを分かち合う時を持ちます。



皆でハンドメイド作成中。おしゃべりにも花が咲きます

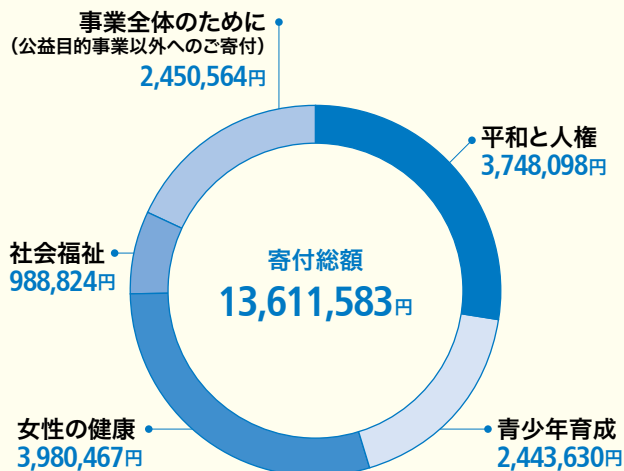


Report 2025年度 ご寄付とボランティアのご参加ありがとうございました

東京YWCAをご支援くださる皆様に心より感謝申し上げます。2025年度は寄付目標額714万円のところ、1361万1583円のご寄付をいただきました。ご支援くださいました多くの皆様に深く感謝申し上げますとともに、今後とも東京YWCAへのお支えを心よりお願い申し上げます。

「2025年度 事業報告」のご案内

東京YWCAの事業報告および財務諸表は、ホームページで公開しています。今号でご紹介した活動以外の取り組みについても詳しく掲載していますので、ぜひご覧ください。



寄付者延数

■個人372人 □法人12件 ■任意団体その他85件

平和と人権	112	10	36
青少年育成	94	6	2
女性の健康	56	7	
社会福祉	37	24	
事業全体のために	73	12	

ボランティア延人数 2,361人

平和と人権	1,264
青少年育成	396
女性の健康	256
社会福祉	445

ご寄付・ボランティアのお問い合わせ先

銀行振込

お振り込み情報の確認のため、必ず寄付申込書をお送りください。
・ゆうちょ銀行(口座番号: 10120 44516671)
・みずほ銀行 九段支店(口座番号: 普通預金 583583)
いずれも口座名義: 公益財団法人東京YWCA

郵便振替

郵便局備え付けの払込用紙の通信欄に「寄付」とご記入ください。
・口座番号: 00100-8-44681 加入者名: 公益財団法人東京YWCA

クレジットカード

公式ホームページからオンラインでお手続きいただけます。1回ごとのご寄付と、毎月決まった金額を継続する「毎月の寄付」があります。詳細はQRコードからご覧ください。



●公益財団法人東京YWCAへのご寄付及び賛助会費は、寄附金控除の対象となります。制度の詳細は国税庁ホームページをご覧ください。

ボランティア募集



関心がある方はぜひお問い合わせください。



公益財団法人東京YWCA
<https://www.tokyo.ywca.or.jp>

東京YWCA会館

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-8-11
TEL: 03-3293-5421(代表) FAX: 03-3293-5570
Email: office@tokyo.ywca.or.jp

・東京YWCA板橋センター
・東京YWCA国領センター
・東京YWCA武蔵野センター
・東京YWCA野尻キャンプ場

YWCA(ワイ・ダブリュー・シー・エー / Young Women's Christian Association)は、キリスト教を基盤に、世界中の女性が言語や文化の壁を越えて力を合わせ、女性の社会参画を進め、人権や健康や環境が守られる平和な世界を実現する国際NGOです。1855年英国で始まり、今では日本を含む100以上の国・地域で活動しています。

東京YWCAは設立120周年を迎えました

発行日: 2026年7月15日